御田祭

県指定無形民俗文化財

おんださい

千年の伝統
泥しぶきを浴びると
無病息災が約束されるという

大地の力蘇る伝統

令和5年
7月1日(土)・2日(日)
御田祭の里 ふれあい広場
宮崎県美郷町西郷田代(雨天決行)

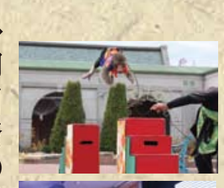
7月1日(土)

◆第30回 日向田植唄 全国大会
午前9時～午後5時　西郷農村環境改善センター

◆ふるさとうまいもん広場
午後3時～午後9時　すぱーく西郷　周辺

◆ステージイベント
午後5時～午後8時　すぱーく西郷

◎日本伝統芸能猿まわし　◎ものまねイベント



第一種取扱業登録証
株式会社二助企画/糸島市二丈吉井808-9/
展示/第4060500008号/平成23年6月7日/
令和8年6月6日/大窪直樹

ななみなな

英明

URyu

◆御田祭の里花火大会
午後8時15分～午後9時
葉桜ふれあい公園

7月2日(日)御田祭

午前8時　上円野神社神事
午前8時40分　日向田植唄披露
午前8時50分　御神幸行列出発
午前9時～10時　随時　牛馬入れ
午前9時　豊年神楽奉納
午前9時20分　上の宮田着
午前9時40分　豊年祈願太鼓
午前10時　子どもみこし入れ
午前10時30分　祭典
午前10時30分～11時　随時　牛馬入れ
午前11時　青年みこし入れ
午前11時25分　田植え神事
午前11時30分　田植え

◆ふるさとうまいもん広場
午前8時30分～午後2時　すぱーく西郷　周辺

◆四半的大会
午前9時～午後2時　西郷農村環境改善センター

◆写真コンテスト
◎応募締切／令和5年7月31日(月)消印有効

主催　御田祭実行委員会　電話0982-66-3603

御田祭の由来

田代神社の御田祭は、主祭神、彦火々出見命の御神霊を、上円野神社よりお迎えし上の宮田から中の宮田への御神幸により行われる九七〇年の伝統をもつ田植祭りである。

田代神社は、標高八九七・七メートルの日陰山、またの名を権現山の中腹に祀られ、長元五年壬申の年(一〇三二年)に創建され、旧社名を霧島神社という。

祭りの日は、田代神社の本社が権現山の中腹にあるため、上円野神社までの神霊の御降りを願って、安置された御輿に乗り移られ、途中上の宮田に神幸、田植え終了後中の宮田に祀ってある年の神に神幸される。

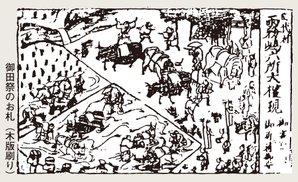
祭りは古来から、世襲制の家柄が中心に祭事役(ミヨド・ウナリ・ノボリモチ)を務め、これに一般の参詣者も加わり、神人・牛馬一体となって神田の整地から田植えを行い、参詣者の無病息災と豊作を祈願する。

この神田の泥しぶきを浴びると人はもちろん牛馬の無病息災が約束されるといわれて、古くは近隣の村々から多くの牛馬が宮田に来ていた。

この祭りには、催馬楽(さいばら)の歌詞も伝えられ、古来の田楽神事がしのばれる近郷では珍しい民俗行事である。昭和六三年三月八日、無形民俗文化財として県の指定を受けている。

ミヨド……祭事の世話役のことである。

ウナリ……白衣にたすきをかけ、頭上に赤飯を入れた飯びつをのせて運び、参詣者に赤飯おにぎりを配る人のことである。



御田祭のお札(木版刷り)

指定駐車場(予定)2000台

総合グラウンド駐車場、農村環境改善センター駐車場
役場職員駐車場、県林業技術センター駐車場
JA日向西郷支店駐車場、旧田代小学校グラウンド
西郷義務教育学校グラウンド